

段ボールでまもろ

においも見た目もしっかりロック

サニタリーボックス

所要時間：10分

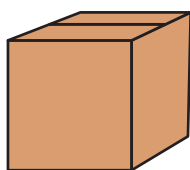


サニタリーボックスはこんなときに役立つ

生活していく上で必ず発生するのが「ごみ」。中には人に見られたくないものや、水分を含むもの、においのあるものもあります。こうした時にフタ付きのパーソナルなゴミ箱として使える、サニタリーボックスの作り方を紹介します。中身が見えず、また床につかないようになっているので、共用部で捨てづらいものを一時的に処理することができます。燃えるごみとして箱ごと捨ててしまってもOKです。

必要な材料・工具

段ボール 1箱



用意した箱がそのまま
仕上がりのサイズになります。



ゴミぶくろ

(中にセットしてゴミぶくろとして使います。)



カッター

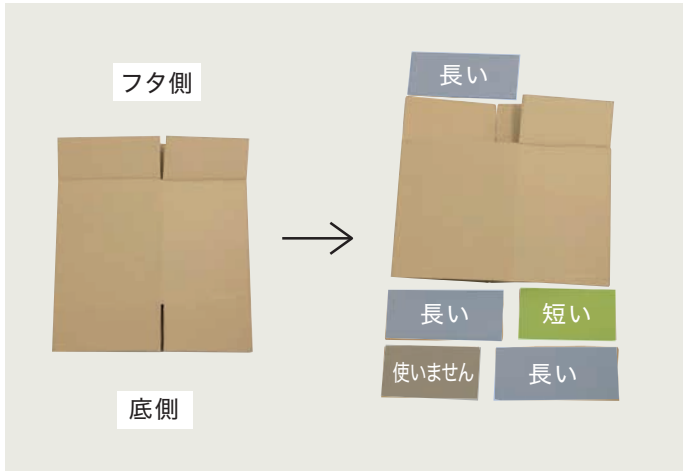


粘着テープ

作り方

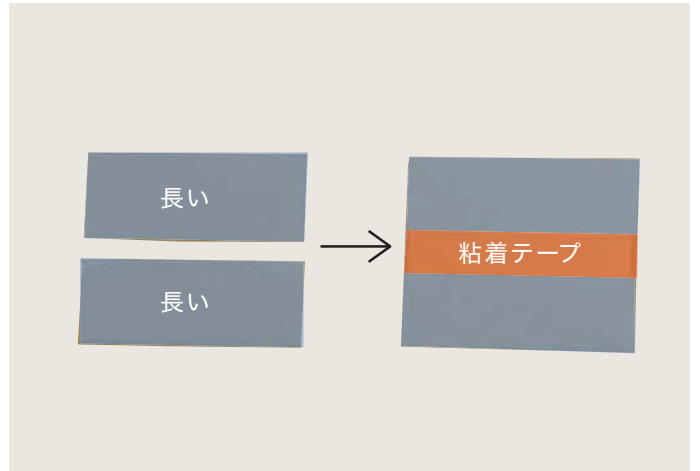
！ カッターやはさみを使う時は、手を切らないように気をつけましょう ！

1 段ボール箱を平らにたたみ、**底側のフラップすべてとフタ側の長いフラップ1枚**を切り落とします。

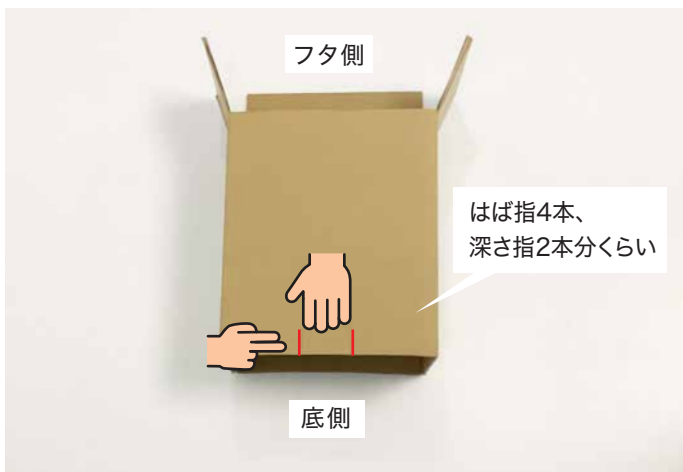


段ボールの「フタ」と「底」の切り込みが入った部分のことを「フラップ」といいます。

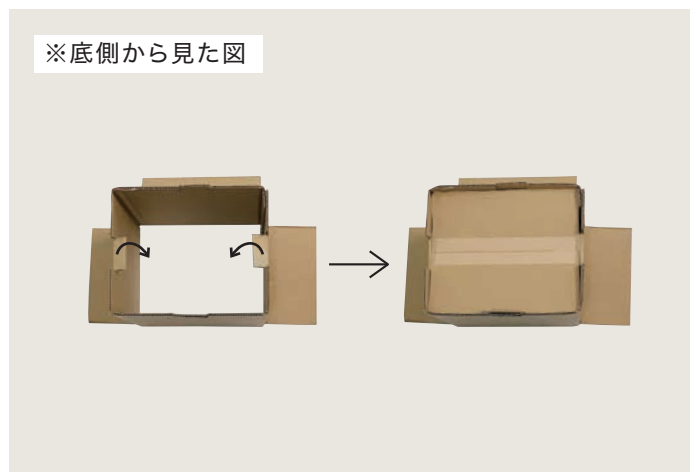
2 切り落としたフラップの長いもの2枚を粘着テープでつなぎ合わせて底の形に戻します。



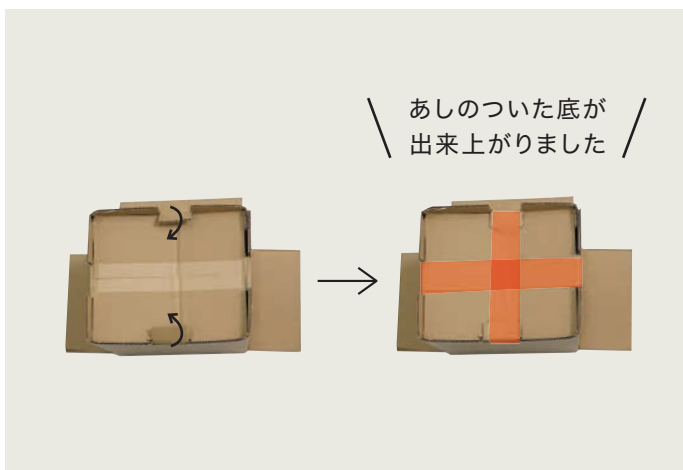
3 **底側の切り口の4辺すべての真ん中に、それぞれ2本ずつ切り込み**を入れます。



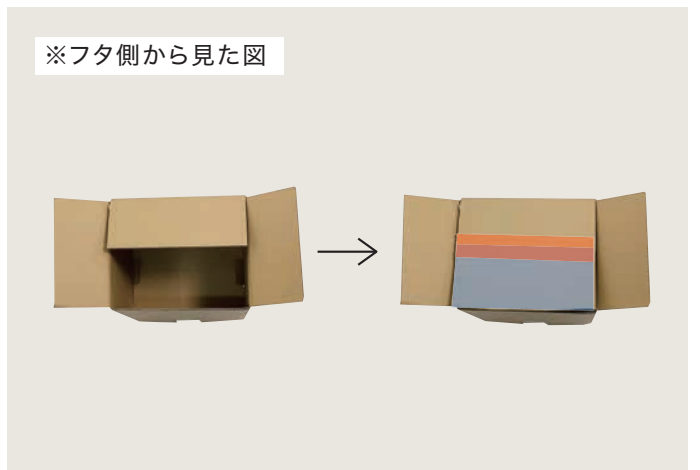
4 短い辺に入れた切り込みを内側に折り込み、②を底側からはめ込みます。



5 長い辺に入れた切り込みを④の上に折り込み、対面の切り込みをまたぐように粘着テープで十字に固定します。

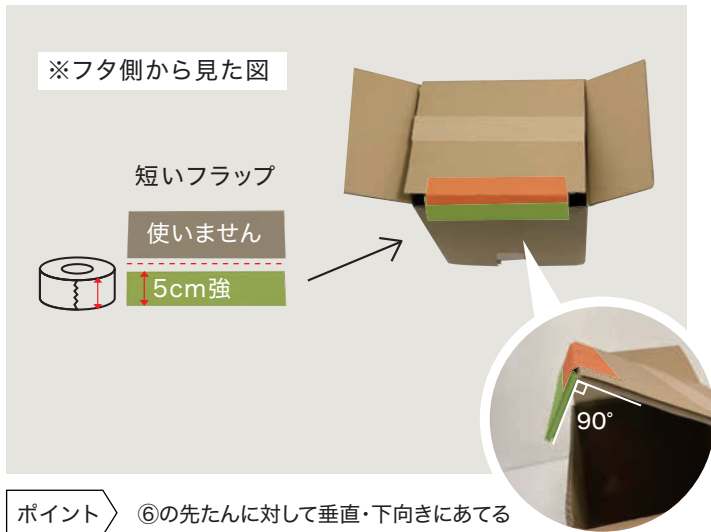


6 フタ側に残っている長いフラップに、①で切った長いフラップ1枚を粘着テープでつなぎ合わせます。

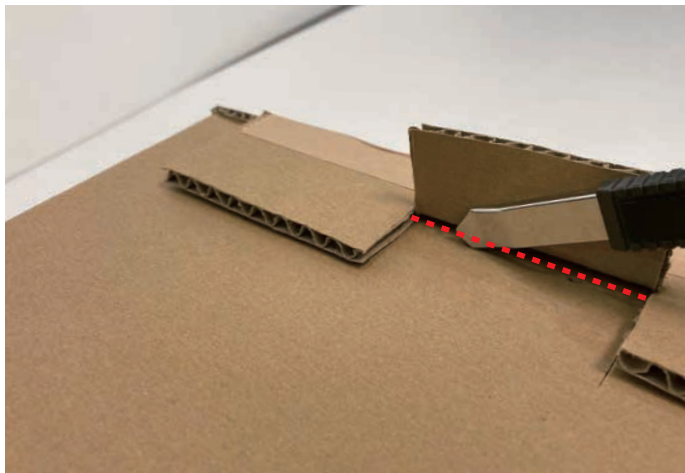


7

①で切った短いフラップをテープはば(5cm強)ほどの帯状に切り分け、⑥の先に中央ぞろえになるよう粘着テープで貼りつけます。

**9**

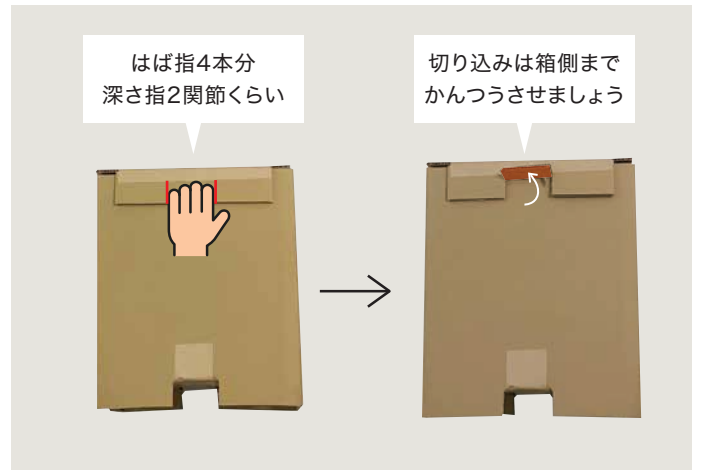
刃を出していないカッターを箱側にあて、⑧で折った付け根の位置に印を付けます。

**11**

フタ側の短いフラップ2枚を、長さが半分ほどになるように切ります。

**8**

箱の前面に⑦のフタを重ねた状態で、辺の真ん中に2本の切り込みを入れ、折り上げます。

**10**

一度フタ部分を開きます。箱についた切り込みをフタ側のふちまで延長します。切り込んだ部分を内側に軽く押し込み、⑨でつけた印で手前に谷折りします。

**12**

フタ側の四すみに短い切り込みを入れます。



完成

⑫で入れた切り込みにゴミぶくろを
セットしてお使いください。

